

## 市民公益活動支援センターを考える会 タウンミーティング 議事録概要版

日 時：2005年10月28日(金) 18:30~20:35

場 所：柏市中央公民館集会室 1,2

記 録：松浦光恵

---

一般参加者：12名

参加者：四元恒慈・山岡平三・高橋昌代・吉田孝子・諏訪部正敏・小島琢夫・増田泰子・  
高田昭治・保田行弘・岡田哲郎・鬼澤徹雄・後藤能成  
・・・合計12名

欠 席：藤田哲也・土谷和光・塚越忠夫・中村典道・吉村友佑・松田月子・大島安輝子・  
岡田幸男

事務局：5名

---

配布資料：

- ・タウンミーティング次第
- ・提言書(骨子案)
- ・提言書骨子案に対する意見&要望
- ・市民公益活動市民センターを考える会 メンバーリスト
- ・検討経過の閲覧方法
- ・ニュースレター vol.1
- ・ニュースレター vol.2
- ・千葉県タウンミーティング開催チラシ

---

次 第：

- 18:30 開会 資料説明
- 18:35 あいさつ：保田(考える会リーダー)
- 18:43 考える会設立経緯、支援センターの必要性：鬼澤(考える会メンバー・柏市)
- 18:52 考える会 検討経過・プロセス説明：宮奈(事務局)
- 18:57 提言書骨子案説明：四元(考える会メンバー)
- 19:10 提言書骨子案説明：高橋(考える会メンバー)
- 19:20 質疑応答
- 20:35 意見書提出
- 20:35 閉会

### 1. 質疑応答

提言書骨子案説明を含めた、以下の6点について参加者より、質問・疑問、提案・修正点などについて様々な意見が出され、またそれについて議論を行った。

骨子案の作成にあたって

支援センターの機能と事業  
利用方法について  
管理運営の基本的な考え方について  
支援センターの目指すもの  
その他

以下、参加者より出された様々な意見を列記。( )内は会場又は説明者別。

### 骨子案の作成にあたって

- ・皆で話し合っ作っていくことが大事。中身はこれから市民で話し合っ決めてべきでは。(会場)  
考える会のメンバーについて公募しており、意見を言う機会はあった。このタウンミーティングは考える会でまとめた内容について足りない部分等、意見を頂くことを考えている(説明)
- ・場所について具体的な候補地を踏まえた検討でないと、理想に終わってしまう(会場)
- ・県内他市の支援センターの成功例・失敗例はどのようなものか。また、どのように調査を行い、会の議論に取り込んだのかについて聞きたい(会場)
- ・ボランティアや団体についてアンケートなどのニーズ調査・分析を行ったのか(会場)  
市民公益活動団体を対象にアンケートを実施している(説明)
- ・支援センターの問題点として多いのは、「人が集まらない」ということ。  
人を集める仕掛けを考えることが重要という点は、考える会でも認識してきた(説明)

### 市民公益活動支援センターの機能と事業

#### (1) 5つの機能と事業内容案

- ・事業内容をもっと具体的に知りたい(会場)
- ・よろず相談窓口は、市役所の機能を覚えるだけでも大変。市役所の職員でも何年もかかる。コーディネーターの能力育成には人材教育が何年も掛かると思うが、どうイメージしているか(会場)  
ワンストップサービスとそのため内部の人材育成も必要(説明)
- ・機能 「交流」の具体的事業案の中の、「カルチャースクール」は公益活動に入れてよいのか?(会場)

#### (2) 既存施設や既存組織との関係

- ・既存の施設との関係で、社協ボランティアセンターとの関係を詳しく知りたい(会場)
- ・提言書(骨子案)では、ボランティア・マッチング事業について「社会福祉協議会のボランティアセンターとは、ドッキングせず」と書いてあるが、事務局の委託先団体としては「社会福祉協議会」を検討しているのは矛盾しているのでは。(会場)  
社協については、将来的には同居するのが理想的ではあるが、場所・現在担っている機能の違いなどの理由により当面は連携という方向で考えている(説明)
- ・提言書(骨子案)では、他組織と「役割分担のもと連携」とあるが、行政の縦割りを直

- すなどの、もっと全体をみた体制にすべき（会場）
- ・行政とうまく連携を（会場）
  - 市民と行政の両方から利用される組織を目指す（説明）

#### 利用方法（利用できる団体について、有料にすべき施設・設備について）

- ・公益団体の定義とは？個人の精神的な利益を求めるような団体は、当センターを利用できないのか？（会場）
  - 利用できる（説明）
- ・支援センターの施設が有料というのはおかしいのでは。近隣センターが有料なのもおかしいと思う。ボランティア、NPO が活動するのにお金をとるのがおかしいのでは？（会場）
- ・公益サービスと行政サービスは違う。支援センターは、公益サービスであり利用料はとってもよいのでは。ただ、各団体の財政状況にあわせた柔軟な料金体系を。（会場）

#### 管理・運営の基本的な考え方（運営主体について・評価の仕組み）

- ・運営の主体について、もっと説明が欲しい（会場）
- ・予算規模はどれくらいなのか（会場）
- ・委託するのか、NPO 法人化して運営するのか（会場）
- ・具体的にどの NPO ならば委託運営が可能なのかイメージがあるのか（会場）
- ・柔軟性を持った組織運営を目指して、運営をしながら答えを見つけていって欲しい。（会場）
- ・自主・自律的に責任を持ち、多様な主体が運営に関わることが「柏らしさ」になると思う（説明）
- ・まず何よりも人が大事。情熱をもった人をどう育てるか（説明）

#### 市民公益活動支援センターの目指すもの（柏らしさ・支援センターの目的）

- ・「柏らしい」とはどういうことなのか。何か理念があるのか。（会場）
- ・「柏に行って、学べ！！」と言われるぐらいに。柏が「日本」にとってできることを考え、そこから「柏らしさ」を考えてはどうか。（会場）
- ・「柏らしさ」への提案として、専門別に図書館を分けて支援センターと連携を（会場）
- ・将来像を見据えて、事業を行う必要がある（会場）
- ・支援センターを何故作るのかをしっかりと考えること（会場）

#### その他

- ・公益活動支援に関する市の統一的な考えを出して欲しい。（会場）
- ・予算と評価を一本化し、市全体という広い観点から見るべきでは（会場）
- ・公益サービスと行政サービスの差別化を（会場）

以上のように様々な意見が出されたが、特に以下の三点について意見が多かった。

提言書（骨子案）の事業案をどうやって実現化・具体化するのか  
柔軟な運営体制を目指して、試行錯誤しながら議論を！  
事前に考える会にて議論が十分でなかった「利用方法」と「運営方法」について

## 2. 今回のまとめと次回について

今回は最終的な提言書を作成するにあたって、タウンミーティングで出された意見についての検討と、まだ議論の継続が必要な項目について議論を行うこととする。